

製造現場の品質管理や生産性向上を支える 自動検査装置を開発

高嶋技研(福井県あわら市)は製造業の品質管理には欠かせない自動検査装置の製造を手がけるメーカー。飲料や酒類、医薬品などさまざまな製品の液面の高さや異物の有無、ラベルの不良などを瞬時に検出することができる装置を提供している。独自のセンシングや画像処理の技術を持ち、顧客ニーズにきめ細かく対応した装置の設計やアフターサービスを徹底することで、顧客から高い信頼を得ている。現在、装置へのリモートメンテナンス機能の追加や検査過程で得られるデータのフィードバックによって、顧客の生産性向上に寄与する取り組みを加速している。

顧客サービス 体制を強化

2022年4月、営業体制を整え、長期にわたって同じ装置を使い続けたメンテナンスセンターも部品供給を継続するCS部を発足した。顧客対応の窓口を一本化し、顧客からのメンテナンス要請や技術的な相談にいち早く対応できる体制を整えた。また、今年からリモートメンテナンス機能を正式にリリースし、現在稼働中の自動検査装置への導入を進めている。社内では装置の開発、設計から製作、据え付け、メンテナンスまでをカバーする一貫感を感じている。そのよう

な「高嶋ファン」を今後も増やしていきたい」と語る。

ワクチン対応 装置投入

1964年創業。84年にカラーでの撮像を可能にした3電荷結合素子(CCD)方式によるラインセンサーカメラを世界で初めて開発し、自動検査装置分野に進出した。90年代後半から飲料メーカー向けの検査装置に力を入れ、ペットボトルのキャップ締め付けを確認するX線検査装置をいち早く実用化するなど、業界をリードしてきた。また、ラベルが

せて粉末状になったワクチン製剤に異物が混入していないかどうかを確認することが可能だという。また、飲料業界向けには商品が段ボールに箱詰めした後、段ボール箱内に異物がなくどうかを確認する装置を製品化した。企画開発部の前川



▲今後の製品開発について話し合う

現在、自動検査装置から得られたデータを細かく分析し、顧客の製造ラインにフィードバックすることに力を入れている。製造ライン側で不良品を出さないための調整を自動で行う仕組みの構築にも取り組む。営業・CS部の大嶋猛夫部長は「検査データを活用し、製造ラインの不具合や部品の交換時期を事前に知らせたり、不良品を出さないための対策を自動で講じたりすることができれば、顧客の生産性向上につながる」と説明する。

TAK 高嶋技研株式会社

〒919-0614 福井県あわら市伊井15-1-1 TEL:0776-74-0880(代) FAX:0776-89-0888

<https://www.takashima-giken.co.jp/>

差別化戦略で 成長を



▲飲料の液面の高さや異物を検査する装置



▲松澤郁夫 社長